



題字／第三代理事長 佐藤貞一氏書

第 28 号

(通巻第51号)

令和元年7月1日

■発行

公益社団法人

仙北市シルバー人材センター

仙北市角館町北野62-2

電話55-1646/FAX55-1652

E-mail:kitasen@sjc.ne.jp



古城山から下界を望む

平成最後の4月29日午後5時ごろに古城山に登り、山頂から角館の桧木内川土手の満開の桜並木を写して見ました。

この後、武家屋敷のライトアップされた夜桜を観賞して帰りました。

写真・文／広報委員 伊藤謙悦

季節の写真を掲載します

会報シルバーきたうらの、表紙に載せる写真を広く会員の皆さんから募集しますので写真に簡単なメッセージを添えて応募して下さい、お待ちしております。

たつこ像と遊覧船

たつこ像を見ていたら、波とともに遊覧船が近づいてきました。

思わずスマホでパシャリ。船上からは、たつこ像を撮ろうとカメラを構える人たちの姿が見え隠れしていました。

写真・文／広報委員 草薙八重子



令和元年度 定時総会が開催される

去る六月六日（木）西木温泉クリオンにて公益社団法人仙北市シルバー人材センターの、定時総会が開催されました。

総会に先立って仙北警察署の交通課の吉田氏と山口氏による「高齢者の安全運転講演」が行われました。



令和最初の総会は相馬順子副理事長の開会のことばにはじまり、ご逝去されました会員様に全員で黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。高橋一海理事長の挨拶があり、その中で、シルバー会員減少に危機感を抱いており会員、役員

が一丸となって一層努力をして増員に努めること、又、業務では「安全は全てに優先する」安全第一で仕事に従事すること等を話されました。総会は年に一度皆様が顔を合わせる良い機会なので会員の皆様の率直なご意見を話して欲しいと、お話がありました。

つづいて、来賓の方々からご祝辞をいただき、その後、議長に田沢湖神代班の清水力氏が選出され定足数の報告があり、監査報告の次に平成三十年の実績報告が原案通り可決され、今後のシルバー人材センターの一層の発展と令和の時代を健やかに過ごせることを願って閉会しました。

尚、解散の前に事務局職員の紹介もありました。
広報委員 山田勝洋



委員欠員による 補充について

◎安全・適正就業委員

角館 岩瀬班

藤村 秋夫

(平成三十一年四月二十五日付)

事務局 業務担当

眞崎 浩光

(平成三十一年一月四日付)

事務局

安全・適正就業推進員

辻 瑞佳

(令和元年五月八日付)

良き令和時代で有ります様に

公益社団法人仙北市シルバー人材センター

理事長 **高橋 一海**



年号が平成から令和に変わり、皆様は新しい気持ちで夏場の作業に尚一層の期待を持って就業に専念される事と推察致しております。さて当シルバー人材センターも

り会員の皆様にも新しい気持ちで夏場の作業に尚一層の期待を持って就業に専念される事と推察致しております。さて当シルバー人材センターも

ごあいさつ



仙北市長 **門脇 光浩**

皆様におかれましては、日頃より仙北市の取り組みをご支援いただき、心より御礼を申し上げます。これ

は仙北市に限ったことではなく、日本が人口減少国に転じ、高齢者社会が加速する中で起きています。対策として、国では外国人材の活用などが声高に議論されていますが、基本はやはり地元の皆様

に伴い一般企業の定年退職が六〇歳から六五歳が普通退職の様になります。私達高齢者が働くシルバー人材センターにもかなりの影響があるものと思われま。市民の皆様と共に歩んでいるセンターを会員並びに役員一丸となって普及啓発活動に一層の力を入れて会員の入会促進に努めて参り度いと考えております。さて、シルバー会員にもなにかしらの資格の有無が就業機会を左右すると云われており

の就業ではないかと思ひます。そこで、特区の取得で規制緩和を行い、新たな職場づくりを進めています。また、既存の事業所や個人の皆様が、短期間（突発的な需要も含め）人手が必要になった場合、その情報が働きたい皆様に伝わっていない現状もあって、これを何とか改善したいと考えています。今月、ハローワーク角館・仙北市商工会・仙北

ます。長年培ってきた経験を生かし作業を依頼して下さる市民の皆様は役に立てて戴く為にも受講して下さいます様にお願い致します。私達会員にとって魅力あるセンターとなるには会員皆さんで知恵を出し合って歩まなければなりません。その知恵が市民の一助になる様にと考えております。この先厳しい暑さが増して参りますのでお体には充分気を配り乍ら、安全に就業されま

す様に切にお願い致します。市シルバー人材センター・市内企業代表者などで、「仙北市雇用確保対策連絡協議会」を立ち上げます。皆様のお力をお借りして、市内での労働力確保に向けた取り組みを一丸となって進めます。皆様には、今後とも健康にご留意をいただき、仙北市を支える主体者として、さらなるご活躍をご祈念申し上げます。

お客様の声

シルバー人材に感謝

角館町 草薙 正哉

木々が葉を広げる新緑の六月は、一年の中でも一番待ち遠しく感じられる季節です。

昨夏の高校野球で金農の自稱『雑草軍団』が甲子園を沸かせました。が、拙宅の雑草軍団もこれに負けてはいないのです。ハルジオン等の単独盗塁はとて華麗で、また、スギナ等の目には見えない見事な連携プレーには頭の下がる思いがします。しかし、残念ながらこの軍団の所構わずエネルギーと勢力を発散する『ノビノビ』としたプレーを手放して喜ぶわけにはいきません。監督不行き届きの結果を、チームの監督が外で働いていることを言い訳としながら、やむなく人手を大いに頼らせてもらい本当に助かっていました。それが『シルバー人材』です。特筆すべきはその丁寧な仕事ぶりです。

拙宅の庭には、自生も含めて誰が植えたのか定かでない、きれいな花を咲かせる植物や

ミズミズバキ、フキンなど

雑草と居を一つにしていきます。これを一本、一本選り分け觀賞用と食用は残し、そうでない軍団を間違いない根こそぎ抜き去る見事な技（ワザ）と、限られた時間で作業を効率的に進める絶妙のチームワークを披露してもらっています。これはなかなか真似のできることはありません。これからも、「監督不行き届き」を理由に「シルバー人材センター」のお世話になろうと考えていますので、どうかよろしくお願い致します。

温かい見守り

仙北市かくのたて児童クラブ 放課後児童クラブ支援員

関 マリ子

小学校のプールに子ども達の弾んだ声が響くようになりました。いつも子ども達を温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。

放課後児童クラブは子ども達の健康や安全確保が大切と考えており、支援員は子ども達の安全な生活について気遣い、

支援すると共に、子ども達が自らの命を守るための技能を身につけられるよう様々な場面で指導しています。

また、遊びを通じて子ども達の自主性、社会性及び創造性を向上させるための活動もしており、シルバー人材センター様には、安全確保のための見守りや遊びへの参加もお願いしております。

かくのたて児童クラブでは現在も下校引率があり、昨年末まで酷暑や雨風の激しい中、子ども達の安全確保をしながら一緒に歩いていただき大変御難儀をおかけしました。

「遊び」では立体折紙に挑戦する子どもを励ましながらいただき、ゲームが大いに盛り上がりました。

皆様も子ども達に優しく、時にはユーモアを持って温かく接する姿には、様々な気づきがあり、元気をいただき心が豊かになります。

これからも、子ども達の支援・指導に、皆様のお力を貸し願えればと思います。今後共、宜しくお願い致します。

会員の声

自分を信じて

白岩班 菅原 和夫

私は、シルバー人材センターから仕事を紹介された時、今までしたことのない仕事でした。できるのかと心配と不安でいっぱいでしたが、仕事を引き受けたからにはやるしかないと思いついて向かいました。やっていくとだんだん慣れてきてやれるようにはなりました。が、なかなか手際よくいかず、奇麗にいかず、気持ちだけが焦ってしまい時間だけが過ぎるという感じでした。しかしやるからには、自分を信じてやるしかないといきかせて仕事をやっていました。やっぱりシルバーの会員にやってもらってよかったと喜んでもらえるように頑張っていきたいと思えます。

職員の皆さんには大変ご難儀をおかけしますが、よろしくお願いたします。

仕事が出来る事に感謝

西明寺班 高橋 宏子

シルバー人材センターを利用して見ようと思ったのは、去年の十月、冬に向かつて何も仕事がないし、このままでは、体にも良くないなと思つたからです。どんな仕事があるだろうと最初は心配したりしました。でもセンターの職員の人達が思ったよりも気さくで話しやすい、相談しても安心出来る様な雰囲気であった為、ふつと自分の気持ちが楽になりました。

まもなくお仕事を頂き働きに行けることになりました。実際、大変なことも多いのですが、今は必要として下さるお客様の為に、思いが届く様に、一つ一つ仕事をこなしています。

お客様に「ありがとうございます」と言ってもらえるとほっこりした気持ちになり、いつの間にかリフレッシュして次の仕事も頑張ろうと張り切る私です。

年間行事及び会議予定

(令和元年七月～令和二年三月)

令和元年七月一日

・シルバー会報(二十八号)発行

・安全だより(三十九号)発行

七月一日～三十一日

・シルバー人材センター事業安全
適正就業強化月間

七月下旬

・第五回理事会

九月下旬

・第二回安全・適正就業委員会

・田沢湖地区ボランティア

十月一日～三十一日

・シルバー人材センター事業普及
啓発促進月間

十月中旬

・角館地区ボランティア

十月下旬

・第八回理事会

十一月下旬

・第四回広報委員会

十一月下旬

・安全だより(四十号)発行

十一月下旬

・西木地区ボランティア

十一月下旬

・第五回広報委員会

十二月上旬

・上半期監査

十二月下旬

・第六回広報委員会

令和二年一月一日

・第十一回理事会

一月下旬～二月中旬

・シルバー会報(二十九号)発行

三月上旬

・地域班会議

三月中旬

・第三回安全・適正就業委員会

・第十三回理事会

事務局だより

《ボランティア活動に参加してみませんか!》

毎年、角館地区、田沢湖地区、西木地区の各地区にてボランティア活動を実施しております。この活動はセンターの普及啓発を目的に実施しておりますので、会員同士お誘いの上ご参加願います。実施内容の詳細については各地域の班長さん、副班長さんを通じて会員の皆様にご案内いたします。

《平成30年度の活動》

- ・角館地区 桜の胸吹枝除去、植木の剪定(落合運動公園)
- ・田沢湖地区 除草及び屋外清掃(仙北市民会館)
- ・西木地区 植木の冬囲い(介護老人保健施設にしき園)

《シルバーフェアに向けて、作品等の出展協力をお願い》

当センターは、毎年10月に仙北市で開催される角館地区文化祭に普及啓発の一環として会員の作品を展示させていただいております。

会員の皆さんの中で、ご自分の趣味等で作成しているクラフト小物やバッグ、吊るし雛の他、写真や絵画など、展示できるものであれば何でもかまいませんので、出展のご協力をお願いいたします。

(昨年までの展示作品)

- ・写真 ・硯箱 ・クラフト小物 ・毛糸手芸 ・吊るし雛 ・編み物 など

《健康診断書(写)の提出について》

シルバー人材センター会員としての条件が「原則60歳以上の健康で働く意欲のある方」としていることから、毎年健康診断を受診するよう推進しておりますが、健康診断の受診結果が届きましたら、事務局までご提出くださいますようお願いいたします。

長期間未提出の会員に関しては、事故の未然防止という意味から一時的に就業を控えていただくことも検討させていただきますので、ご了承をお願いします。

《事務所休業日のお知らせ》

令和元年8月13日(火)～令和元年8月15日(木) ◇ 午前中のみ営業となります。(午後 事務所を休業)

令和元年12月28日(土)～令和二年1月5日(日) ◇ この期間は、年末年始により事務所を休業いたします。

会員大募集(女性大歓迎)

「会員一〇〇万人達成計画」に伴う目標値三二〇人を目指して「会員一人がひとりを紹介」を合言葉に入会を促進していただくよう会員皆さまからのご協力をお願いいたします。

☎五五一二六四六

(なお、二十日が休日の月は、翌平日となります。)

入会説明会の開催日

7月24日(水)
 8月20日(火)
 9月20日(金)
 10月21日(月)
 11月20日(水)
 12月20日(金)

説明会に出席する場合は、事前に申込みが必要です。

事務局人事

退職

○安全・適正就業推進員兼業務係

山崎芳和

四月三十日付で退職されました。平成三十年十一月より六か月間、大変ご苦勞様でした。

任用

○安全・適正就業推進員兼業務係

辻瑞佳

(五月七日付)

文芸

俳句

- 菅沢班 小田長 幾子
○ 冴返る早足なりて散步道さへ
- しみわたる古希の身体に春愁はるうれい

- 神代班 大山 優子
○ 木々の間に踏み集め青葉風ためら
- アカシヤの花の満ちたる母系かな
- 突然に植田飛び立つ2羽の鷺

- 松木内班 橋本 勲
○ 良縁を願い待ちわぶ桐の花
- 夏祭り明かりの消えて元の村

- 松木内班 橋本 敦子
○ 掬い飲む山女魚の住みし沢の水やまめ
- 今更と云い聞かせおり着の花

短歌

- 菅沢班 小田長 幾子
○ 凜と立つ百合の花みて逝きし母
思ひ出すなり美しき装い

雲沢班 菅原 シホ子

- 汗を拭き腰伸ばすとき遠くより
ローカル列車の汽笛が聞こゆ
- 若きよりマラソン続け来し姉が
選手宣誓孫と成したり

- 幾たびもの水害つけし平成の
元号終わり令和となりぬ

西明寺班 阿部 栄子

- 芸達者日頃の成果出しきつて
十八番眩しき「ふれ合い祭り」おはこ
- 紫色の歓喜高らか反る仲間むらさき (金産の)
- ボールボーイはナインに等し

※今頃ですが、縁の下の頑張り屋
(選手に劣らぬ)彼を思い出し…。

松木内班 橋本 敦子

- だんごりの肅々として発表の
官房長官は今和を告げる
- 集落の三軒で組む法事のりごと
桃の花咲く寺庭閑か

川柳

- 北部班 青山 甫
○ 古城山古都を見ている姥桜ふるしろの
- 大雪も消し谷間に花飾り

広久内班 伊藤 謙悦

- 雪解けて竹の子出れば熊もでる
- 山開き登山に参加汗流す

広久内班 伊藤 恭子

- 野菜苗植えて実りを楽しみに
桜散りつつじや藤が花盛り

松木内班 橋本 敦子

- 女子会はひっくり返した
ごった箱
- 晩酌は不可欠が無ければ乾杯です

広報委員会では、会員の皆さんか
らの文芸を、随時募集しております。



編集後記

とある社内・まん丸で可愛い
目のペッパージャー君(こんにちは、
今日は良い天気ですね)と相手
の動作に合わせて発語、接客と
言うか受付をしている動作にほ
のぼのとしました。医師の遠隔
操作で支援ロボットが手術を行
い、更にドローンの活用でフォ
トや農作業まで。

それと、まるでアニメの世界
のような無人自動車の運行の話
題が多く、将来的には燃料も水
素使用とか。夢のような事です
が地球にも優しく頼もしい限り
です。私達も『空飛ぶ機器等』
で生活の援助をして頂く時代が
近づいているかも知れません。

会員は、修練で錬磨された
方々だと思えます。《必要とし
て下さる時》の出番待ちです。
《命は宝》です。日々体調管理
(健・口・)と安全第一を。そし
て、適宜の余暇をとり入れ喜楽
に。老いた芽?を活かして何時
でも頼りにされるシルバー人財
として上・寿目指しましょう。

令和初めの会報「シルバーき
たうら」ご愛読下さい。

広報委員 阿部栄子